

# 万引き防止啓発「リーフレット」「デジタルワークシート」を活用した指導例

小学校低学年

○授業のねらい

(1)万引きは犯罪であることを理解し、してはならないこととして正しく区別できる判断力を養う。

(2)万引きは自分だけの問題だけではなく、お店の人や家族など、周りに傷つく人がたくさんいるということに気付かせる。

○授業の流れ (45分)

	活動の内容	指導上の留意点
導入 5分	<p><b>1 課題意識をもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「万引き」がどういった行為のことか発言する。</li> <li>・万引きは犯罪であることを知る。</li> </ul> <p><b>2 学習問題を確認する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット「万引きとは…？」を電子黒板等に写すなどして視覚化する。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>【学習問題】 万引きをすると、自分や周りの人はどうなるか考えよう。</b> </div>	
展開 30分	<p><b>3 「考えてみよう①」に取り組む。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○×クイズに答える。</li> </ul> <p><b>4 「考えてみよう②」に取り組む。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたが万引きをすると周りの人がどう思うかについて考える。</li> </ul> <p>児童1「私は『お店の人』が『かなしむ』と思います。なぜなら大切な商品だからです。」</p> <p>児童2「僕は『家族』が『つらい』気持ちになると思います。なぜなら大切な家族が悪いことをしてしまったからです。」</p> <p><b>5 体験して考えよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割演技（ロールプレイ）する。</li> <li>・万引きに誘われた時の断り方や、友達に万引きをさせないための言葉がけを練習する。</li> </ul> <p>例1 先生 「このお菓子、万引きしようかな。」 児童1 「万引きはだめだよ。」 児童2 「万引きなんてやめようよ。」</p> <p>例2 先生 「このおもちゃ、万引きしようよ。」 児童3 「万引きなんてやらないよ。」</p> <p><b>6 万引き防止の合言葉を全員で言う。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・○又は×と判断した理由を発言させ、児童の多様な考えを引き出す。</li> <li>・一人1台端末を活用して、リーフレットに掲載していない他の○×クイズに取り組む。</li> <li>・「ほかにどんな考えがあるかな」は自由記述欄である。児童同士で話し合わせ、多角的に考察させる。</li> <li>・「誰」が「どう思うか」を発問し、「なぜそれを選んだか」と理由も問いかけ、考えさせる。</li> <li>・児童と児童、児童と教師、教師と学習支援員等で、実際に断る場面を役割演技し、対応する技能を身に付けさせる。</li> <li>・役割演技を見ている児童にも自分ならどうするか問いかけ、発言させる。</li> <li>・万引きをすると、その後、店から警察へ通報することになっていることを伝える。</li> <li>・左記の他にも、児童に多様な言い方を考えさせ、学級内で紹介させる。（「お金をためて買おうよ」など。）</li> <li>・困ったときは一人で悩まず、家族や大人、相談機関に相談することを伝える。また、名前を言わなくても良いことを伝え、相談の第一歩を踏み出しやすくする。</li> <li>・万引き防止の合言葉を声に出して、絶対に万引きをしない・させない・みのがさない気持ちを高める。</li> </ul>
まとめ 10分	<p><b>7 学習を振り返り、まとめをする。</b></p> <p>先生「あなたが万引きをすると、自分や周りの人はどうなりますか。」</p> <p>「万引き防止の学習を振り返り、どのようなことが大切だと考えますか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考えさせた後、一人1台端末を活用して学級全体で考えを共有して、多様な考えに触れさせる。</li> <li>・児童の言葉を大切にしながら、学習をまとめる。</li> <li>・児童の実態等に応じて、万引き防止啓発作品（標語・イラスト・4コマまんが）の作成等、まとめ方を工夫する。</li> </ul>